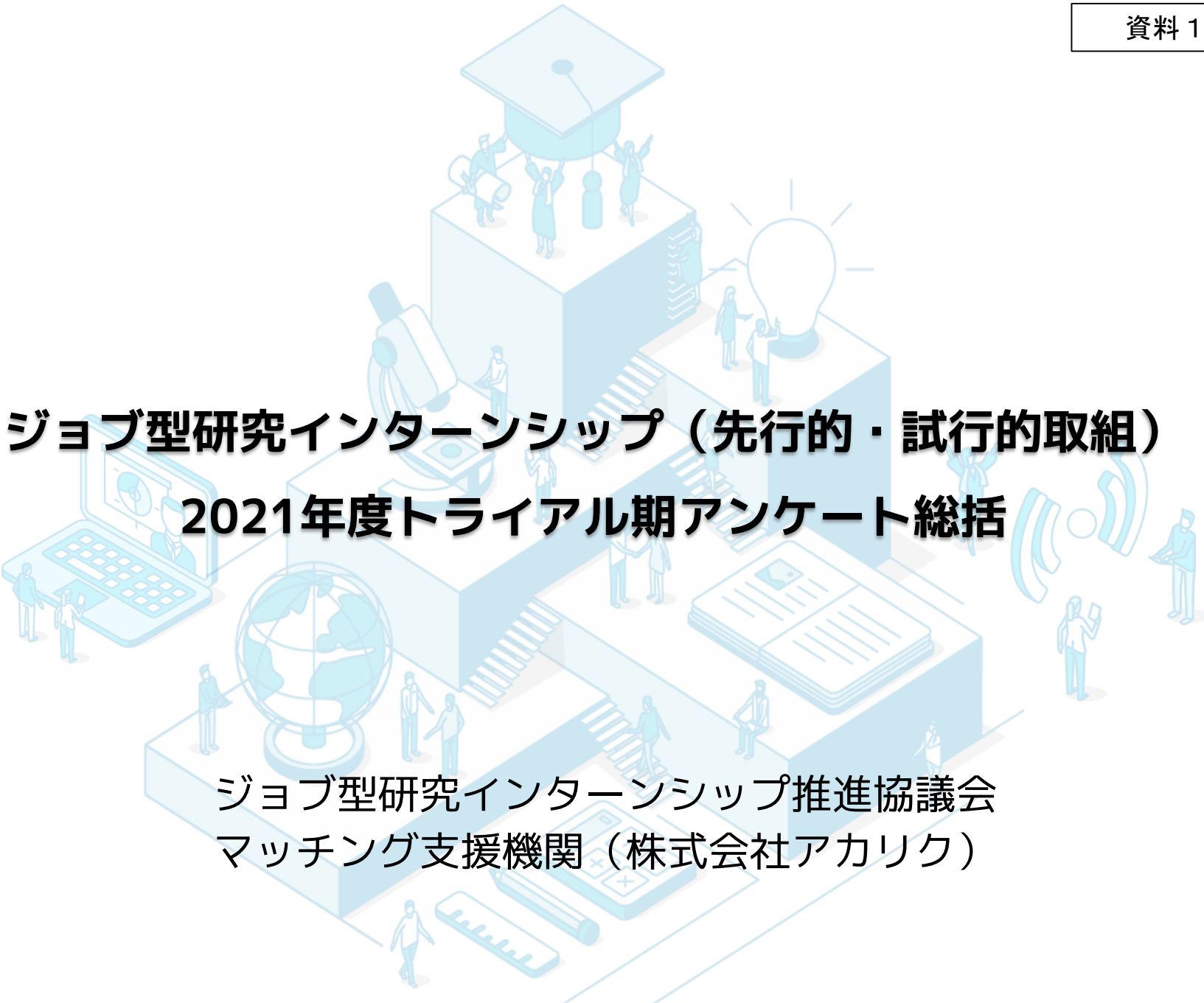
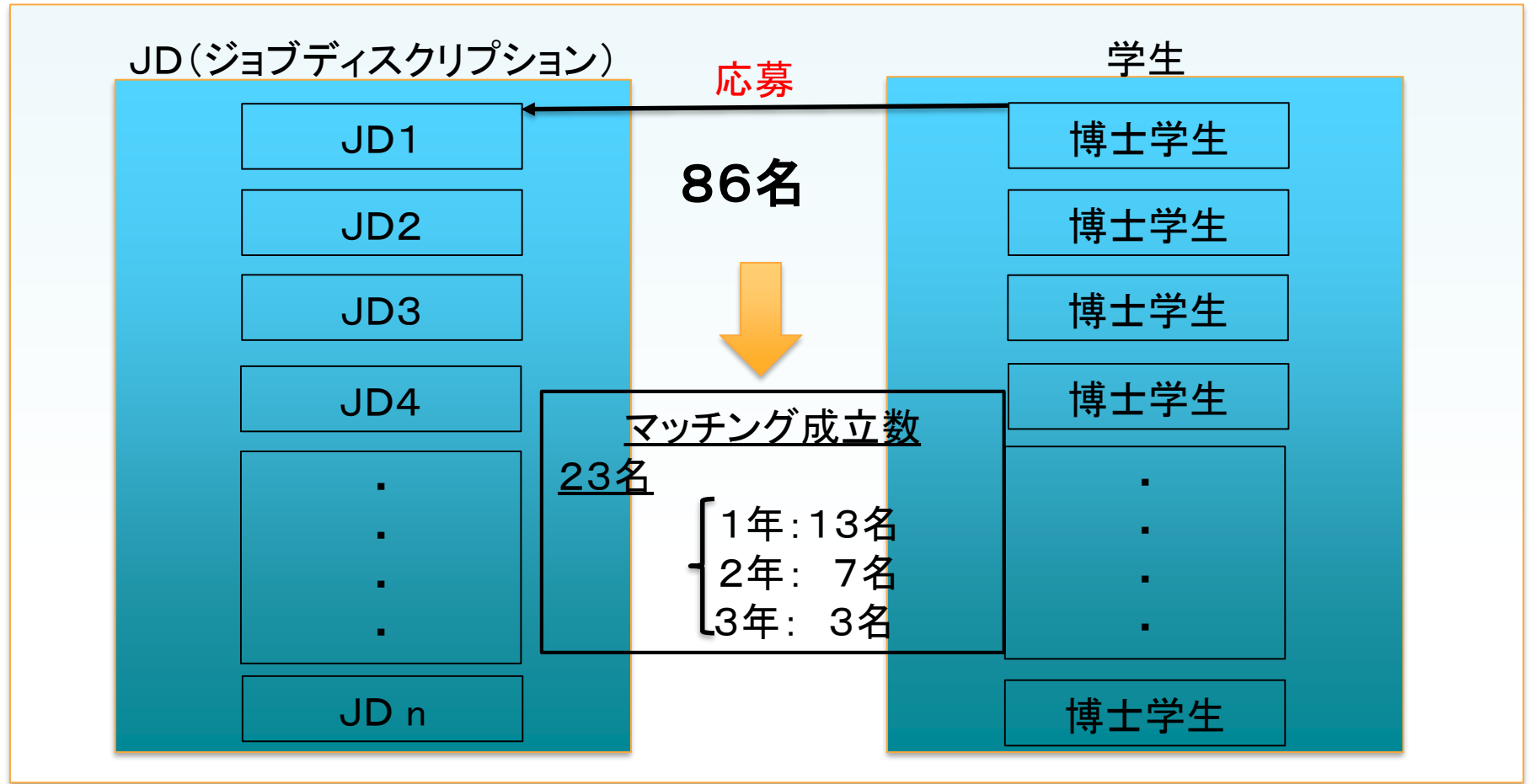




ジョブ型研究インターンシップ（先行的・試行的取組） 2021年度トライアル期アンケート総括

ジョブ型研究インターンシップ推進協議会
マッチング支援機関（株式会社アカリク）

ジョブ型研究インターンシップ2021年度トライアル実績



提示・募集

19社

63JD(募集人員75名)

学生情報登録

304名

1年: 130名
2年: 106名
3年: 39名
その他: 29名

ジョブ型研究インターンシップ推進協議会
会員企業48社 (※)

ジョブ型研究インターンシップ推進協議会
会員大学51大学 (※)

(※) 令和3年12月24日時点

アンケート調査について

＜調査内容について＞

- 調査対象 : 2021年度トライアルにおいて、マッチングが成立しインターンシップを受け入れた企業（14社）
及びインターンシップに参加した学生（22名）
- 調査対象期間 : 2022年4月30日までにインターンシップを終了したJD（22件*）
- 回答率 : 企業・学生ともに100%

* マッチングが成立した23件のうち、4月30日時点でインターンシップ受入れが終了していないものが1件あったことによる。

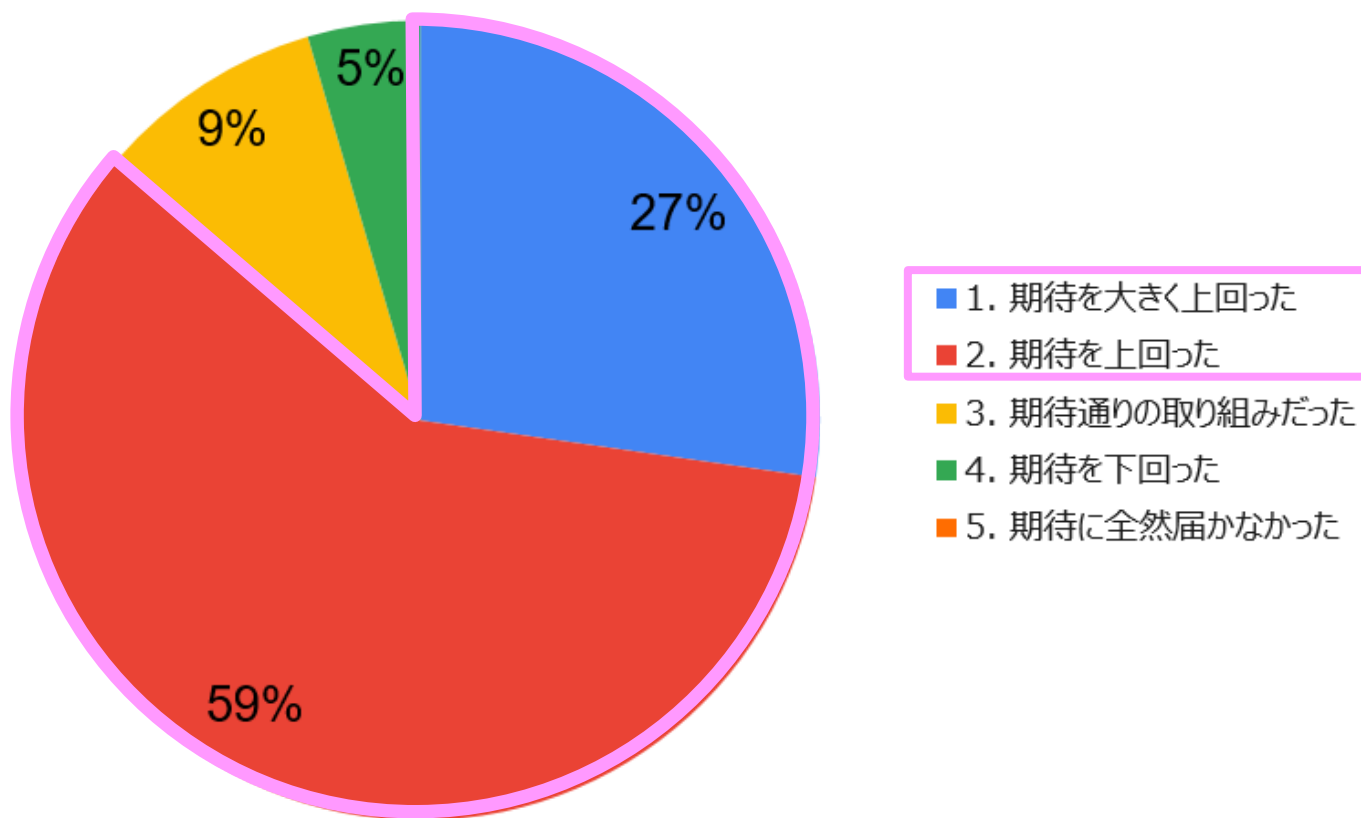
＜総括結果について＞

- 特定個人及び企業が特定されないよう集計結果、またはコメントの抜粋のみ記載

インターン参加企業アンケート（１）

【質問１】受入学生のインターンシップでの活躍の印象について教えてください。（n=22）

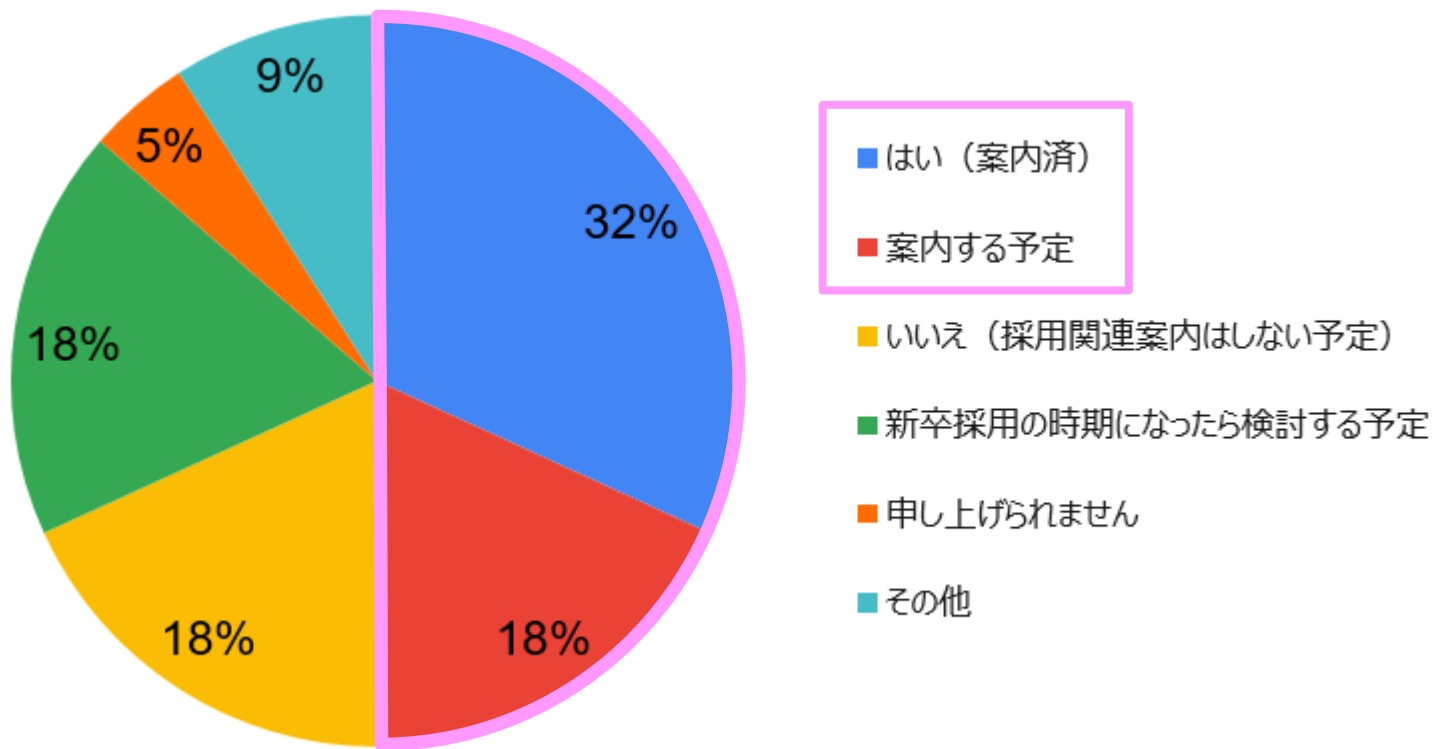
→ 「期待を大きく上回った」「上回った」と回答した企業で8割以上



インターン参加企業アンケート（2）

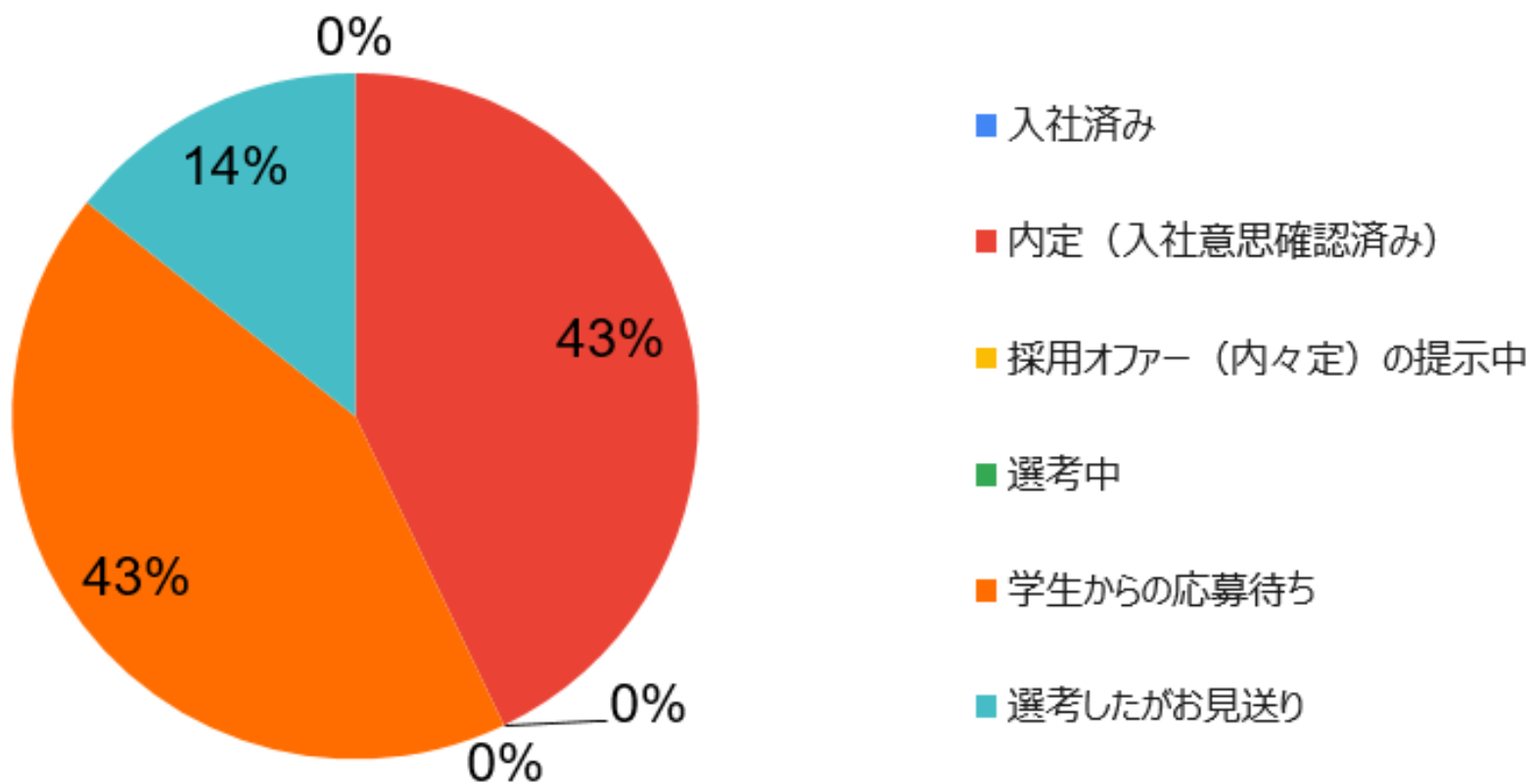
【質問 2】 インターンシップ終了後、参加学生に採用に関する案内を行いましたか。（n=22）

→ 「はい（案内済み）」、「案内する予定」と回答した企業が 5 割



インターン参加企業アンケート（3）

【質問3】 質問2で「はい（案内済み）」と回答した場合、学生の選考状況をお教えてください。（n=7）

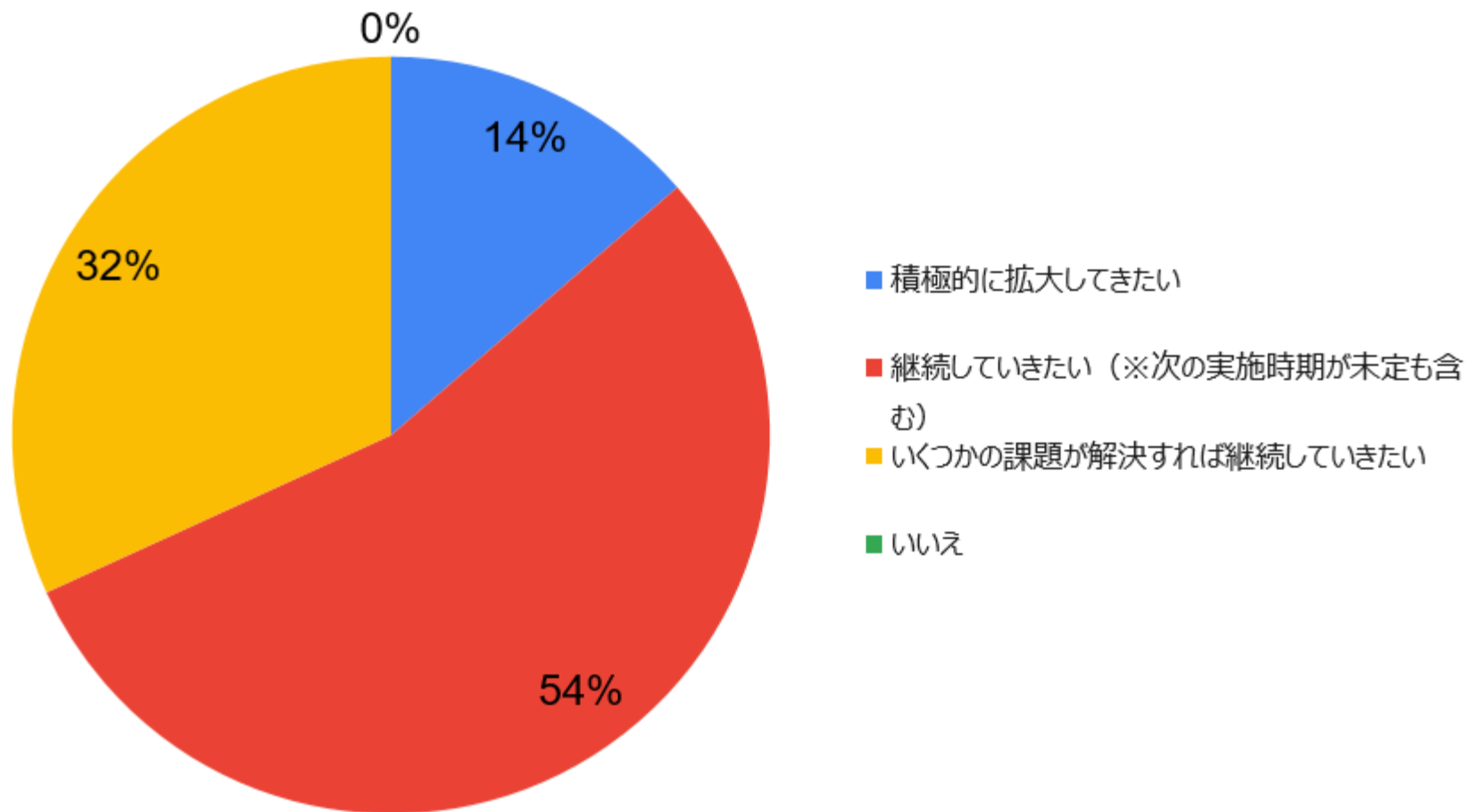


インターン参加企業アンケート（4）

【質問 4】 ジョブ型研究インターンシップを今後も継続していきたいでしょうか。（n=14） *1

→すべての企業が継続していきたいと回答

*1：全マッチング企業のうち、2022年4月末時点でインターン受入を完了した14社分のみ



インターン参加企業アンケート（5）

【質問 5】（前問で拡大・継続していきたいの場合）その理由を教えてください。（自由記述）

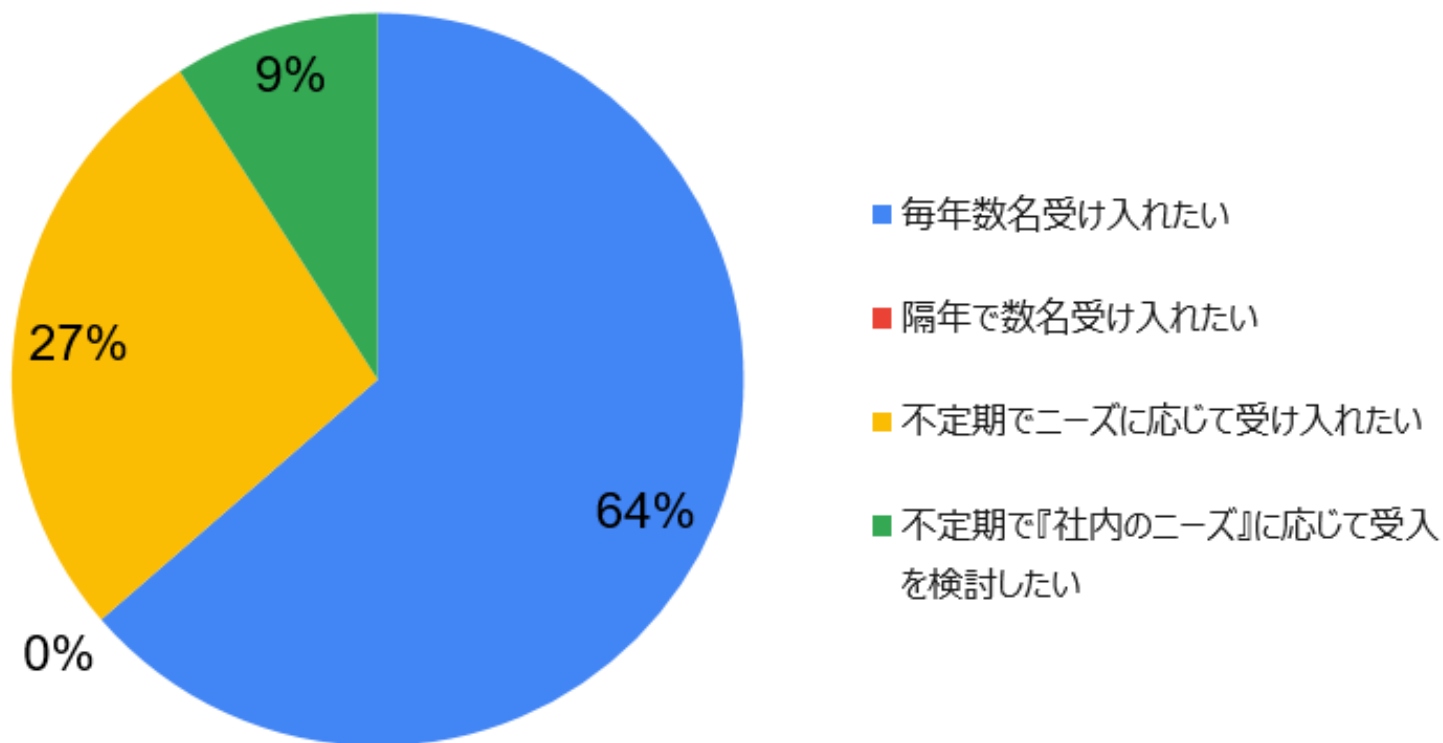
- トライアルで期待を上回る成果が出せたため。
- 企業・学生にとってWin-Winのプロジェクトであるため。（企業にとっては、学生のスキルや経験をプロジェクトや業務に生かすことができる。学生にとっては、大学のカリキュラムの中では得られないスキルや経験を積むことができる。）
- 産学連携の観点で当社にとってもメリットのある仕組みであると考えるため。
- 通常の新卒採用選考では出会いにくいタイプの学生と出会えたから。
- 優秀な学生さんに出会えるチャンスであると同時に、弊社従業員にとってもよい刺激となるため。
- 当枠組みならではの高いレベルの学生との接点になる可能性があるとわかったため。
- 今年度の実績を鑑みて弊社側の求める具体的な人財像を探索する場として有効な取組みだと考えています。現状としては全社的に拡大するには事例が少ないため、拡大の段階には至っていない状況です。

【質問 6】（前問で「いくつかの課題が解決すれば継続していきたい」の場合）その課題を具体的に教えてください。（自由記述）

- 手続きの煩雑さ、受入担当などリソース。
- トライアルでは全体の登録者数が少なく、応募数も少なかったため、職場からかかる労力の割に成果が上がらないとフィードバックがありました。そのため、本年度については登録者数の推移を見ながらJDを登録する運びとなりそうです。
- 知的財産権につき、大学側との調整が難航する点があり、当社帰属かつ有給型で実施することが可能な大学とのみ継続を想定しています。
- 説明会や資料など準備を含め工数がかかりすぎる。マイナビなどのインターンサイトで募集をしたらここまで時間がかからないので、比較して検討したい。また、参加大学も限られているので、このまま継続するかは検討中。

インターン参加企業アンケート（6）

【質問 7】 質問 4 で「拡大・継続していきたい」の場合、どの程度の頻度でインターンシップ学生を受け入れたいか教えてください。（n=11）

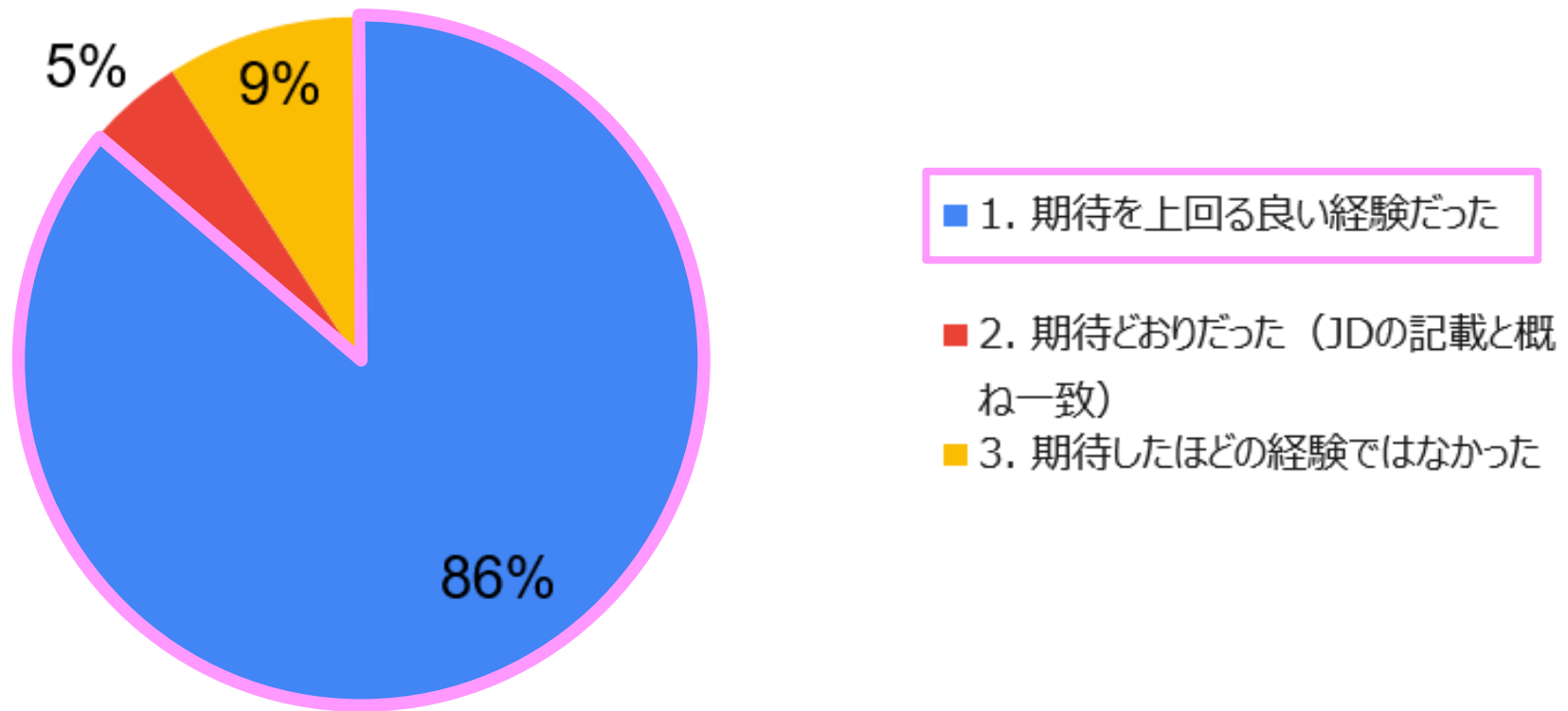


インターン参加学生アンケート（1）

【質問 1】 受入先でのインターンシップ全体の感想について教えてください。（n=22） *2

→ 8割以上の参加者が「期待を上回る良い経験だった」と回答

*2：全マッチング企業のうち、2022年4月末時点でインターンが完了した22名分のみ



インターン参加学生アンケート（2）

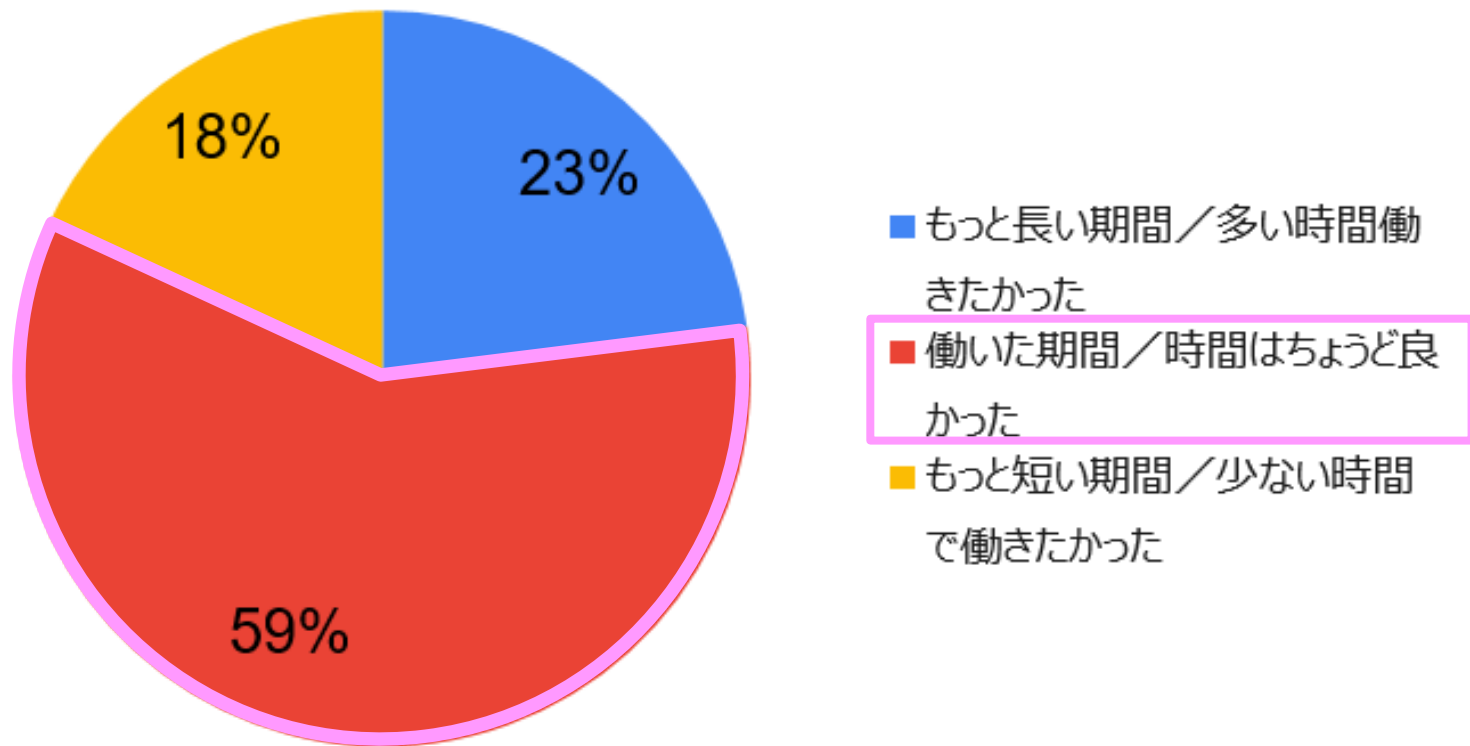
【質問 2】 前問の回答を選んだ理由を教えてください。（自由記述）

- 博士卒の人材が企業で働く際にはということが求められるのかを知ることができた。
- 社会人として働く人々とのコミュニケーションが相当に有意義だった。
- 企業の雰囲気を知ることができ、また実際に成果を生み出すために働く経験を得ることができた。
- 研究業務だけでなく、進捗報告会にも参加させていただき、社員と同様の扱いをしていただけた。
- JDの内容に加え、それをさらに発展させ、製品開発の最前線の研究に触れることができたため。またその企業の研究開発に対する考え方や研究体制、開発内容に関して、最前線で働く方々に直接伺うことができ、自身のキャリアを考える上で貴重な経験になった。
- 研究知識や技術を高めると同時に、企業内で働くとはどういうことかを体感できたため。また、視野が広がり、大学での研究テーマの発展のさせ方など、参加前よりも柔軟な考え方が出来るようになったと思うため。
- 将来やりたい研究を体験することができたので満足でした。
- メンターの方はとても親切でした。プロジェクトの詳細について、ドメインの知識と技術的な側面の両方について、辛抱強く説明して頂きました。また、産業研究者としての経験も教えていただき、産業研究者の気持ちがより理解できました。
- 自分の専門だけではなくさまざまなトピックに学んだり、以前の経験が使ったりしたからです。
- だいたい業務内容は想像と一致していた。想像以上に業務に関わらせてくれた。
- 自分が勉強した知識を活かした上で、専門知識やコミュニケーション能力も高められます。
- 専攻とは異なる分野の研究業務を体験できたことに加え、今までにない観点から自分を知るいい機会になったと思っています。

インターン参加学生アンケート（3）

【質問 3】 インターンシップの期間について教えてください。（n=22）

→ 約 6 割の参加者が「働いた期間/時間はちょうど良かった」と回答



インターン参加学生アンケート（４）

【質問４】インターンを通して得られた学び・気づきを教えてください。（自由記述）

- 専門が異なる人々との協働を通じて、視野を広く持つことの重要性を学んだ。
- 企業の研究開発では、時間の制約がある中でいかに価値を見出すかが非常に重要であることを身をもって学んだ。
- 今までの研究を計画する経験が会社でも十分に役立った。
- 個人主義な研究室に比べて、企業の方が分業をして全員でひとつのテーマに取り組んでいるのだと知った。
- 複数の部署と連携して働く際のマネジメント能力。
- コミュニケーション能力・お客さんとのすり合わせ。
- 自分の長所と短所を外部から評価してもらえて自信が持てるようになった。 研究に必要な技術や知識、考え方は、自分の専門分野以外にも繋がっていることがわかった。
- 現場で研究をする実感、会社のカルチャー、雰囲気。企業研究の考え方、速さ。安全性への高い意識。
- また使用したことない器具を使うことができ、企業で働く適性も分かりました。
- アカデミアでの研究と産業界での研究の違いを知ることができた。
- 卒業後の憧れの会社での研究の雰囲気がよりよくわかりました。
- 理論的に見える自分の専門性を生かして、社会に役立つ現実的な問題を解決することができました。
- 安全性やリスク分析に関する知識が深まり、将来のキャリアプランに関連する業界の研究者の労働条件を非常によく理解することができました。
- 企業とアカデミアのタイムスケール感の違いなどには気がつかされた。特に1日の時間の使い方は企業の方が濃かった。
- 同じ部署の方々と交流する中で、自分の趣向や大学院で培ってきたスキルについて客観的に知ることができました。
- JDに沿ってどのような時間配分でどこまでの成果が求められるのかを考えながら取り組むことを学んだ。

インターン参加学生アンケート（5）

【質問 5】 ジョブ型研究インターンシップのプログラム全般についてご意見があれば自由にご記入ください。（自由記述）

- 大学と企業の間の手続きが円滑になるよう工夫してほしい。
- フルタイムで週2日勤務という形態だったが、自分の研究との兼ね合いがつけやすく良かった。
- 選考開始から採用までの期間が短すぎると感じた。
- 非常に良いプログラムであると思う。事前に上司または直属の先輩に当たる人と面談ができるとより良いと思った。
- プログラムの応募に際し、システムがよくわからず不安が大きかった。特にスカウトをいただいても返信が出来なかったため、応募するまで企業担当者と連絡を取ることが出来ず、ちょっとしたことを聞きたくても聞けなかったのが不安だった。また、評価書が就活に使えるということだが、どうやって使えば良いのかがわからない。特に参画していない企業に提示しても、システムを説明するところからしなければならないと思うので、使い道がなさそう。
- 本選考と関わりがないことがすごく残念です。終わってから他社の選考を受けなければならないので時間が手間です。
- このような機会を与えていただき、大変感謝しています。他の学生にも勧めたいと思うプログラムです。
- 2ヶ月以上毎日ではなく、週3日のようにフレキシブルに働くことを選べるのは博士課程の学生にとっては重要だと思う。